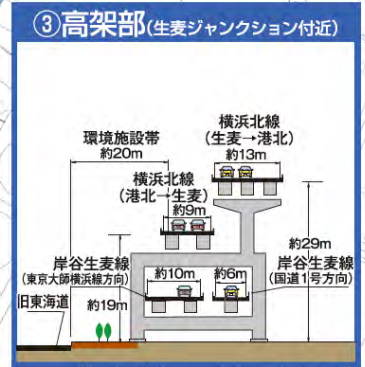


第30回 全国街路事業コンクール応募資料

ふりがな 応募者名		よこはましどうろきょく 横浜市道路局
街路事業	ふりがな 事業の名称	よこはまこくさいこうとけんせつどうろじぎょう3・4・51ごうきしやなまむぎせん 横浜国際港都建設道路事業3・4・51号岸谷生麦線
	ふりがな 事業主体	よこはまし 横浜市
	ふりがな 実施都市名	よこはまし 横浜市
	事業概要 (400字以内)	
事業規模		<p>○事業延長:L=1,200m</p> <p>○事業費:25,355百万円</p> <p>○幅員:W=17m</p> <p>○事業期間:平成13年～平成29年</p>
事業の目的		本事業は、横浜北線の出入口の一つである岸谷生麦出入口へのアクセス向上と新たな道路ネットワークの形成による地域の連絡強化を目的としている。
事業効果 (効果一覧を参考に具体的な効果を記入)		<ul style="list-style-type: none"> ・国道1号と国道15号の接続による新たな道路ネットワークの形成と、それに伴う周辺道路の交通量・渋滞長の減少→将来的な温室効果ガス排出量の減少が期待 ・緊急輸送路が通行止めとなった場合の代替路線の確保 ・自転車歩行者道の整備(安全・安心な歩行空間の確保、浸水被害区域への新たな避難路の整備) ・隣接企業との協働による、高架下を活用した新たな緑地の整備 ・横浜北線開通に伴う、市北部と京浜臨海部のアクセス向上(横浜港、羽田空港への所要時間の短縮と定時性の確保、観光需要の増加等、輸送時間減少による貨物輸送量の増加)
地元対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との協働等 ・事業反対等があったか ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点 	<ul style="list-style-type: none"> ・家屋移転を最小限にするために、横浜北線と一体整備を行い形状のコンパクト化を行うとともに、橋梁・トンネル構造を採用した。 ・対話会を開催し、地域の課題解決を図った。 ・遮音壁や裏面吸音板設置による環境への配慮、歩道部への投石防止柵の設置による安全の確保 ・隣接企業との協働による高架下緑地の整備(新たな緑の創出。敷地外緑地制度利用による整備→整備費、維持管理費の縮減) ・生麦事件碑の設置や健康みちづくり推進事業との連携による歴史との共存と地区の魅力アップの推進

事業位置図

※ 方位、スケール、主要道路名等は必ず記入願います



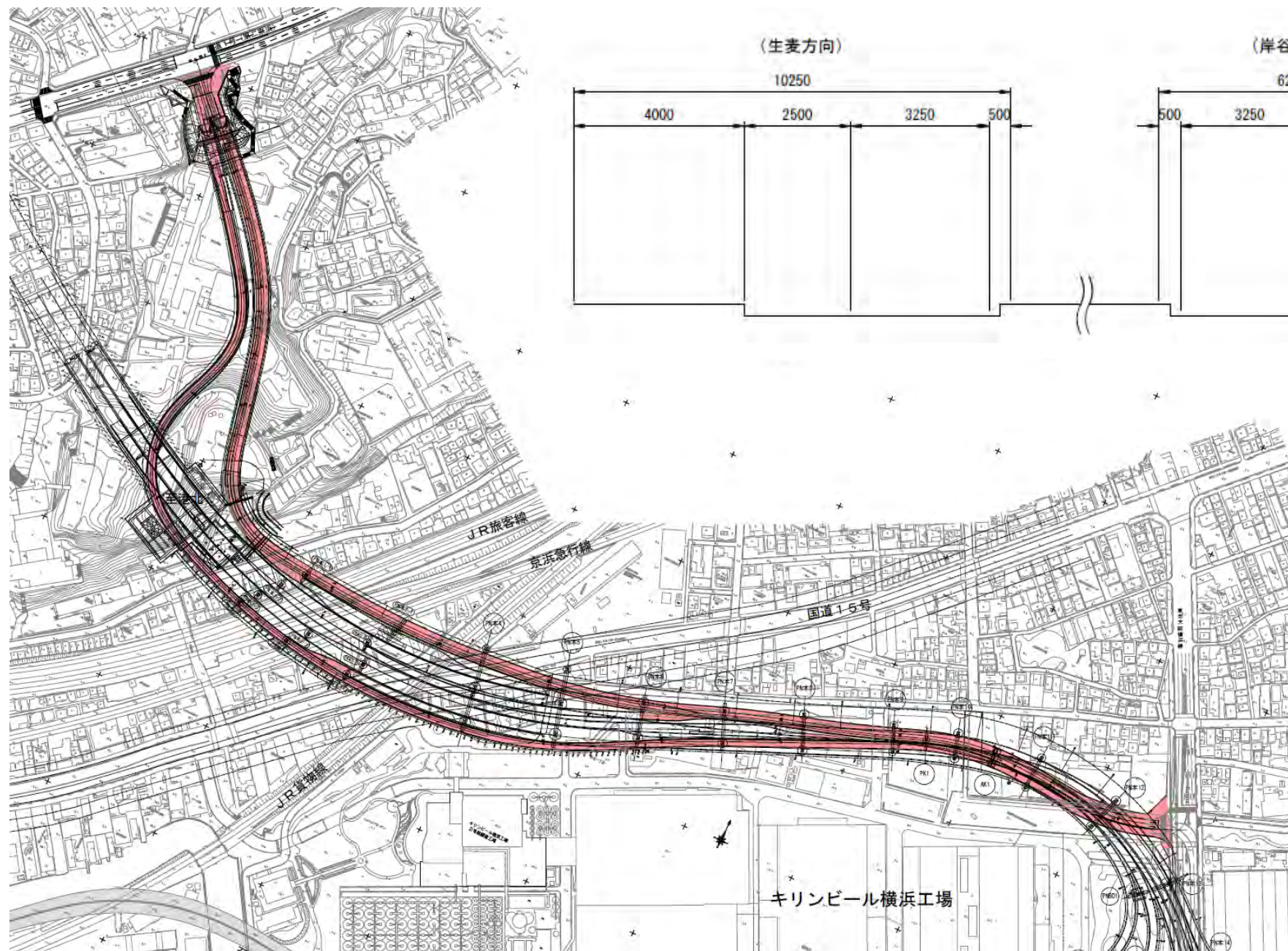
横浜市地形図複製承認番号 平27建都計第9025号

- | | |
|----------------|---|
| 横浜北線(生麦方向) | ■ |
| 横浜北線(港北方向) | ■ |
| 出口: 横浜北線→岸谷生麦線 | ■ |
| 入口: 岸谷生麦線→横浜北線 | ■ |
| 横浜北線→横羽線 | ■ |
| 横羽線→横浜北線 | ■ |
| 大黒線→横羽線 | ■ |
| 関連街路 | ■ |
- 凡例



全体図(平面図・横断図・縦断図)

※ 方位、スケール、主要道路名等は必ず記入願います



事業前写真

